**《第２期総合戦略における主な取組》**

参考資料

**◎基本目標に基づく取組**

各基本目標について、大阪府の置かれた現状を踏まえたうえで、以下の取組みを行っていきます。これらの取組みに対応したKPI指標を設定して

います。（新規項目については、赤字で記載。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 基本目標 | 府の置かれた現状 | 主な取組 | KPI指標 |
| ①若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する | ・若者の非正規雇用が多く、収入が低い・企業が集積し、多様な求人がある・求人求職のミスマッチがある・女性の就業率、出産後の再就職率が低い・ワークライフバランスの浸透が不十分・保育施設が不足している・小１の壁がある | ◎若者の就業支援・高校生に対する府内中小企業の魅力発信・若年者の安定した雇用・職場定着支援◎女性の就業支援・企業に対する働き方改革の周知・啓発（ワークライフバランスの推進）◎子育て環境の充実・事業所内保育施設の開設支援・放課後児童クラブの拡充 | ○就業率　（15～34才）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○女性の就業率○合計特殊出生率 |
| ②次代の「大阪」を担う人をつくる | ・2025大阪・関西万博の開催・多様な教育環境・授業料無償化制度による生徒の選択機会の確保・貧困の連鎖の存在・全国学力・学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣等調査で、全国平均を下回る | ◎グローバル人材の育成　　・海外留学の支援　　・グローバル体験プログラム　等◎児童虐待の発生予防　（重大な児童虐待ゼロを目指す）◎小・中学生の学力向上を図る◎小・中学生の体力向上を図る | 〇高校卒業者就職率○全国学力・学習状況調査における平均正答率○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における評価 |
| ③誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり | ・平均寿命・健康寿命ともに全国を下回る・健康寿命と平均寿命との差が大きい・2025大阪・関西万博の開催・医療・介護需要の増大・社会保障費の増大・高齢者の社会的孤立の進展・地域のかかわりの希薄化、コミュニティの弱体化 | ◎健康寿命の延伸　・健康アプリ「アスマイル」　・10歳若返りの取組み　等◎高齢者等がいきいきと暮らせるまちづくり　・地域包括ケアシステムの構築　・先端技術の活用による住民生活の質の向上　等◎ダイバーシティの推進　・全ての人の人権が尊重される社会の実現　・外国人材の円滑な受入れ促進　等 | ○健康寿命の2歳以上延伸○府内民間企業の障がい者雇用率 |
| ④安全・安心な地域をつくる | ・南海トラフ巨大地震による被害の想定・2025大阪・関西万博の開催・G20サミットにおいて「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」発表・公共施設等の老朽化 | ◎大規模災害に備えた国土強靭化計画に基づく取組◎環境にやさしい都市の実現　・プラスチック対策（プラスチックごみゼロ宣言）　・食品ロス運動◎ファシリティマネジメントの推進 | ○地震による被害予測 |
| ⑤都市としての経済機能を強化する | ・2025大阪・関西万博の開催・わが国第二の経済都市圏・ライフサイエンス、新エネルギーなど成長産業の集積・大阪産業局、大阪市、大商との連携・外国人労働者数が全国第３位 | ◎産業の創出・振興（イノベーションの創出）　・先端技術を活用した生産性の向上　・外国人材の円滑な受入れ促進・事業継承の支援　等◎活力ある農林水産業の実現　・大阪産の販売促進・輸出支援 | ○実質経済成長率○開業事業所数 |
| ⑥定住魅力・都市魅力を強化する | ・住民の高齢化、施設の老朽化・テクノロジーの進化・人口減少による空家・空地の増大・2025大阪・関西万博の開催・外国人観光客の急増・百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録 | ◎定住魅力の強化　・スマートシティ推進による住民のQOLの向上　・空家の多様な活用　等◎都市魅力の創出・発信　　・外国人観光客の受入環境整備　・世界遺産を活かした観光の提案・発信・公共施設を活用した観光の提案・発信　等 | 〇転入超過率（対全国）○転出超過率（対東京圏）○来阪外国人数 |

**◎横断的な取組**

上記基本方向に基づく取組みに加え、「万博のインパクトを活かした取組」、「SDGｓの推進」、「スマートシティ実現に向けた取組」については、重点

取組方向と位置づけ、各基本目標の垣根を超えた横断的な取組みを行っていきます。